

石狩地本の一企画～フレインストーミング～

<職場の課題・悩み>

○賃金カットがある

○仕事が忙しい

【残業が多い】

- ・部署は増えるが採用人数は減っている
- ・忙しい部署とそうではない部署がある

【職員が少ない】

- ・女性職員が特に少ない
- ・兼務発令が多い
- ・将来を考えた採用を行っているのか疑問
- ・係長と若手職員の間にあたる30代の職員がいない
→係長には聞きにくいことを相談する相手がいない

○上司があまり仕事をしない

- ・担当者ばかりが忙しい
- ・昔は「部下は忙しく上司は楽」という考え?

○保育士職場の環境が良くない

職場の問題に疑問を持つ時間すらない

- ・行事に参加しない
⇒声かけしても参加してくれない
- ⇒幹事会すら出席してくれない
- ・プライベート優先（土日は大切）

無関心層

- ・誰かがやってくれる（他人任せ）
- ・現状の課題に対する危機感がない

せっかく取り組むなら
「目に見える成果」が欲しい!

面倒くさい

話し合っても解決しないという
アキラメ感

職場を「こうしたい!」という
熱意がない

でも

青年が職場の悩みを真剣に話し合う場がない
(幹事会がそもそも開催されないところも・・・)

石狩地本として
まずはここから変えていこう!

青年部の目的は?
組合は必要?

困っている仲間を助けるためにあるのでは?

でも

- ・知識・経験不足で答えられない
- ・組合経験の浅い役員しかいない

結果として

- ・組織率低下
- ・組合の理解得られない
→組合費を払うのが無駄
→組合を抜ける
- ・仲間を増やせない

後志地本の一企画～生活実態点検データ～

自治労後志地方本部青年部 生活・職場実態点検データ

日付の下に時間外勤務した時間を記入願います。例) 1時間→「1」、2時間→「2」、4時間30分→「5」

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
	1		3		2	
9	10	11	12	13	14	15
	1			2		2
16	17	18	19	20	21	22
		1		2		3
23	24	25	26	27	28	
		1		1		

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
			2			
9	10	11	12	13	14	15
		4		2		2
16	17	18	19	20	21	22
	1					
23	24	25	26	27	28	29
		2			1	1
30	31					
1	2					

日	時間外勤務時間	金額
1	土	円
2	日	円
3	月	2,375円
4	火	円
5	水	7,125円
6	木	円
7	金	4,750円
8	土	円
9	日	円
10	月	2,375円
11	火	円
12	水	円
13	木	4,750円
14	金	円
15	土	5,130円
16	日	円
17	月	円
18	火	2,375円
19	水	円
20	木	4,750円
21	金	円
22	土	7,695円
23	日	円
24	月	円
25	火	2,375円
26	水	円
27	木	2,375円
28	金	円
計		46,075円

日	時間外勤務時間	金額
1	土	円
2	日	円
3	月	円
4	火	円
5	水	4,750円
6	木	円
7	金	円
8	土	円
9	日	円
10	月	円
11	火	9,500円
12	水	円
13	木	4,750円
14	金	円
15	土	5,130円
16	日	2,565円
17	月	円
18	火	円
19	水	円
20	木	円
21	金	円
22	土	円
23	日	円
24	月	円
25	火	4,750円
26	水	円
27	木	円
28	金	2,375円
29	土	2,565円
30	日	2,565円
31	月	4,750円
計		43,700円

2月・3月総計 89,775円

もし上記の時間外勤務手当が金額支給されているから、あなたならガマンせずに何に使いましたか？
外食

2014年4月30日

後志地方本部
執行委員長 吉井康裕様

後志地方本部青年部
部長 桑原将人



青年女性労働者の時間外勤務の改善を求める要請書

私たちは、それぞれの職場で、住民の生活にかくことのできない業務に従事し、円滑な行政を推進するために日夜努力しております。

しかし、自治労北海道後志地方本部青年部の「時間外勤務実態点検データ」の取り組みにより2014年2月から3月にかけて時間外勤務の実態を調査した結果、人員不足や業務量等の係別での不均衡により、時間外労働の慢性化や不払い時間外勤務と思われる労働が多く行われている現状を知りました。

以下に示した要請項目は、行政の最前線で働く青年女性労働者が意欲を持って働ける職場にするため、また、私たちの生活や権利を守るため、青年女性労働者として譲ることのできない切実な声であり、「時間外勤務実態点検データ」集計に基づく要求の実現のための取組みを要請します。

記

- 1 時間外勤務の慢性化を軽減するための適切な人員配置の最適化を図ること
- 2 管理職による時間外勤務命令の適正な執行、管理を行うこと
- 3 時間外勤務の縮小に努めるとともに、時間外勤務手当てに必要な予算を確保するとともに完全支給すること